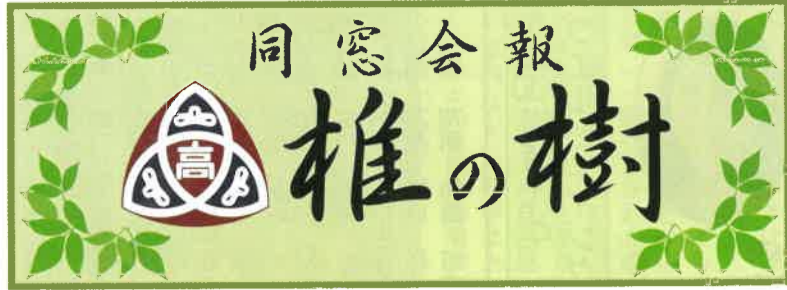


わたしたちの同窓生

《母校創立127周年》

会員数 36,938名
2026年5月1日 現在



2026.5.1 第40号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
〒370-0062 高崎市稲荷町 20
電話(027)362-2585

発行責任者 赤羽洋子
印刷 株式会社 精真社



勇みこそ行け

同窓会長 61期

赤羽洋子

新緑が深まり、薫風に心弾む季節を迎えました。

同窓生の皆さまには、日頃より高崎女子高等学校並びに同窓会活動に深いご理解と温かなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。母校は本年創立127年を迎え輝かしい歴史を重ねております。

明治の時代に女子教育の灯を掲げて以来、時代の移ろいの中に有っても、常に学びの本質を見失う事なく歩みを重ねてまいりました。その長い歴史の上に立ち、様々な分野で社会に貢献し、活躍する多くの有為な人材を送り出しております。その上に今日があることを思うと、胸に静かな



不易と流行その二

校長 齋藤利昭

同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校のために物心両面にわたり多大なるご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。令和7年度は、春の高校バレー出場にあたり多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。今年度も多面にわたりお世話になりますが、引き続きよろしくお願いたします。

高女では、県指定校として非認知能力育成に向けた取組であるステューデントエージェンシーハイスクール(SAH)を進めてきました。エージェンシーを発揮する、非認

誇りと感謝の念が広がりま

会報『椎の樹』は、私たちの歩みと想いを確かに結び、世代を超えた絆を今に伝える大切な存在です。高女の象徴である「椎の木」は、末広町から現在の稲荷町校舎に移植され、揺るがぬ根を張り、時代の風雪に耐えながら校庭で成長を続けております。その姿は学び舎を築立ち、それぞれの道を進んできた私達自身の歩みと重なり合うように感じられます。

校歌の一節「勇みこそ行け」の精神は、卒業後もそれぞれの人生を支える礎となり、脈々と受け継がれ未来へと導いてくれます。在校生の各

活動に於いて様々な分野で活躍の報道を目にする機会も多く文武両道を掲げている躍進に胸躍らせております。特に1月には春高バレー全国大会へ群馬県代表として出場という快挙の報を受け、同窓会と致しまして、お祝い金や賛助金のお手伝いをさせて頂きました。

そして今号で『椎の樹』が創刊40号を迎えました。多くの先輩方によって心を合わせて紡がれた貴重な情報が、温かさや懐かしさで胸に響いてきます。その志を受け継ぎ、新たな頁を重ねて、更に輝きを増し次世代への懸け橋になるよう信じております。

今後とも、同窓会活動への変わりぬご理解とご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸、そして母校高女の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

知能力を高める、何か新しい取組をしているように見えるこれらの教育は「流行」でしょうか。エージェンシーとは自分と社会をより良くしようとする意志、原動力、非認知能力とは数値では測りにくい思いやり、自信、協調性、忍耐力、自制心、主体性、やり抜く力、好奇心、創造性、コミュニケーション能力、ストレス耐性、適応能力などです。これらを発揮したり高めたりすることは教育において「不易」のこととあり、高女の伝統として脈々と受け継がれていることです。方法ややり方は新しいもの「流行」を積極的に取り

入れながら、これまで高女に受け継がれてきた「不易」を磨いていきたいと考えます。時代を超えて大切にしなければならぬ人間力を高める教育を大切にしていきたいです。これからの高女の歴史と良き伝統を継承しながら、新しい時代に対応した学校づくりを推進してまいります。そして、同窓会の皆様と共により良い学校となるために歩んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。



令和8年同窓会総会

97期 高原 忍

令和8年同窓会総会が、200名以上の会員と来賓の皆様のご臨席のもと、盛大に開催されました。

赤羽会長のご挨拶に続き、齋藤校長および川手PTA会長よりご祝辞をいただきました。

齋藤校長からは、バレーボール部の1月の全国大会(春高バレー)出場に際し、同窓会および同窓生有志からの支援への感謝の意が伝えられました。その他の部活動の活躍として、バスケットボール部、ハンドボール部、水泳部、新体操部が関東大会に出場。山岳部、ソフトテニス

部、陸上競技部が全国大会に出場。文化系では新聞部、百人一首部、書道部、文芸部、音楽部、マンドリン部、放送部の活躍が報告されました。

伝統を継承し、勉強と部活動の両立に取り組む高女生たちに、今後とも同窓会からの継続的な支援へのお願いがありました。

議事では、令和7年の事業・会計報告および令和8年の事業計画・予算案が承認されました。また、本会の事務業務を補助するため、事務員を置くことに伴い、細則案が承認されました。

なお、総会資料は6月末まで、母校ホームページ(HP)「卒業生の皆さんへ」内の「同窓会より」コーナーに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

同窓会入会式

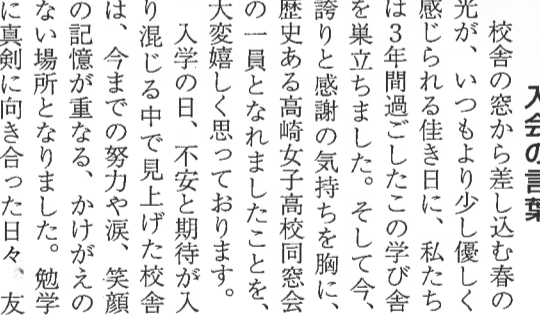
校舎の窓から差し込む春の光が、いつもより少し優しく感じられる佳き日に、私たちは3年間過ごしたこの学び舎を巣立ちました。そして今、誇りと感謝の気持ちを胸に、歴史ある高崎女子高校同窓会の一員となれましたことを、大変嬉しく思っております。

入学の日、不安と期待が入り混じる中で見上げた校舎は、今までの努力や涙、笑顔の記憶が重なる、かけがえない場所となりました。勉学に真剣に向き合った日々、友

と語り合い支え合った時間、そのすべてが私達を少しずつ成長させてくれたのだと感じています。こうした日々を過ごすことができたのは、熱心に導いてくださった先生方、共に歩んだ仲間、そして陰ながら支えてくださった同窓会の皆様や家族のおかげです。

これからは、それぞれ異なる道を歩みながらも、高女で学んだ誠実さと挑戦する心を忘れず、社会の中で自分らしく輝いていきたいと思っております。母校の名に恥じぬよう努力することを誓い、同窓会のさらなるご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。入会の挨拶といたします。

令和8年3月2日
新入会員代表 篠原優和
(125期 期別幹事)
篠原 優和 植松 麗奈
三吉明日美 町田のほら



総会の様子



こちらからもアクセスできます

同窓会入会式

入会の言葉

開催日	時間	行事/場所	問い合わせ先
令和8年 6月28日(日)	12:00~ 14:30	令和8年京浜同窓会 KKRホテル東京	3面参照
9月5日(土)	10:00~ 12:00	旅行申し込み日 椎樹館	97期 橋本真樹 090-7420-8979
10月25日(日)		親睦旅行 「河口湖音楽と森の美術館& 勝沼ワイナリーの旅」	97期 橋本真樹 090-7420-8979
令和9年 2月7日(日)	11:00~ 14:30	総会・新年会 ホテルメトロポリタン高崎	97期 高原 忍 090-5443-9228
3月1日(月)		同窓会入会式(卒業式内)	
5月1日(土) 母校開校記念日		会報第41号発行	

上記予定は、止むを得ず中止・変更となる場合があります。最新情報は、母校HP内「卒業生の皆さんへ」「同窓会より」をご覧ください。

※令和9年の当番期は98期(平成10年度卒業)です



同窓会入会式が行われた令和8年3月2日の卒業式の様子

同窓会役員改選

令和8年の同窓会総会において、左記の方々が再任、新任されました。

Table with columns for positions (e.g., 会長, 副会長, 顧問) and names of members, including their graduation years and names.

多様性の時代に、自分らしく挑む



95期 小島寛子

大学卒業後、日本航空(JAL)に入社し、国際路線の営業を中心にキャリアを重ねました。経営破綻からV字回復、コロナ禍など、不確実な状況で意思決定を重ねる中で、世の中を俯瞰しビジネスを推進する力を養いました。現在はグループ子会社の社長として、マイルを通じて



74期 芳子ビューエル

人生100年時代とウエルビーイング

現在私はドイツで開発された世界特許を取得している機能ワタの日本代理店をしています。その一方で、JETRO時代からの繋がりで、北欧メーカーとのビジネスも継続しています。

高女生の頃、「将来の夢は世界中を飛び回って仕事をすること」でしたので、定期的に仕事で海外出張があるのは嬉しい限りです。当初北欧の素敵なデザイン家具や食器を輸入して販売



取材中の一場面

※ウエルビーイングとは... 身体的、精神的、社会的に満たされた「良好な状態」を指す概念。

椎の小径

【書道家】73期 山内清香

「あさがほや彼方の穹にかほをむけ」自詠句



久昌寺の本堂(安中市)

日常でJALを感じてもらおうビジネスを担っています。周囲から「忙しくなったのでは?」と心配されますが、むしろポジションが上がったことでワークライフバランスは改善し、生活の質が向上したと感じています。



万博に登壇した際の一場面

振り返れば、高女で「積極的に行動することを臆さない姿勢」を育めたことが、今に生きています。途中、高校留学を経験し、休学も含め4年間お世話になりました。広い世界を知った一方で、時は進路の選択肢が限られ、学校生活には正直窮屈さを感じていました。が、異性がない中で、仲間と切磋琢磨しながらリーダーシップを育

夢の舞台への挑戦



116期 櫻井綾乃

大学卒業後、東京都武蔵野市を拠点とするラグビーチーム「横河武蔵野アルテミス・スターズ」に所属し、今年で8年目を迎えました。昨年8月には、4年に一度開催される15人制ラグビーの国際大会「女子ラグビーワールドカップ2025イングランド大会」において、大会登録選手32名の一員として日本代表に選出され、幼少期からの夢であった世界の舞台に立つ機会を得ました。近年は度重なる怪我に悩まされ、競技引退を考えた時期もありましたが、多くの方々の支えにより挑戦を続けることができました。目標としていたベスト8進出には届かなかつたものの、スペイン代表に勝利し、23年ぶりの歴史的成果を収めることができました。



左がご本人

大会に際し、同窓会の皆様より応援を準備いただき、身に余る光栄とともに強い責任感を感じました。帰国後には表敬訪問の機会を賜り、赤羽同窓会長をはじめとする同窓会の皆様、齋藤校長に大会結果をご報告申し上げました。また、高校時代に所属していたハンドボール部の現役生とも交流し、その真摯な姿勢に大きな励ましをいただきました。高校時代を振り返りますと、長期合宿や海外遠征を含む多忙な環境の中で、先生方や学友のご理解とご支援に支えられ、学業と競技の両立を果たすことができました。高女で過ごした3年間は、現在の私の礎となっております。今後とも皆様のご期待に応えられるよう、より一層研鑽を重ねてまいります。



女子ラグビーワールドカップ2025 イングランド大会



角川武蔵野ミュージアム前にて

親睦旅行

角川武蔵野ミュージアムとムーミンバレーパークの世界へ

97期 橋本真樹
令和7年10月26日、しっかりとした秋の風情を感じながら親睦旅行が始まりました。

角川武蔵野ミュージアムでのプロジェクトマッピングでは、先輩方が過ごしてきた時代を思い返し、胸を熱くさせている様子が印象的でした。

京浜同窓会

97期 鈴木絵美

令和7年6月29日、東京大手町のKKRホテル東京にて京浜同窓会が開催され、ご来賓9名と約100名の同窓生にご参加いただきました。



き誠にありがとうございます。最後に、同窓生皆様の活気と笑顔あふれる温かな会となりましたことを、当番期一同心より感謝申し上げます。

令和8年 高女同窓会親睦旅行へのお誘い

♪河口湖音楽と森の美術館&勝沼ワイナリーの旅♪

- 期日/令和8年10月25日(日)
○行程/高崎駅東口(7時30分出発)→藤岡IC→河口湖音楽と森の美術館/南都留郡(10時30分~13時)→マンスワイン勝沼ワイナリー/甲州市(14時~14時50分)→談合坂SA(15時25分~16時05分)→藤岡IC→高崎駅東口(18時30分頃到着)
○費用/16,000円 ○定員/40名(バス1台)
○お申し込み方法
(1)母校椎樹館にて 令和8年9月5日(土)10時~12時(参加費を添えてお申し込みください)
(2)お電話にて 令和8年9月5日(土)15時~20時(橋本宮下携帯 下記参照)
電話による受付の場合、9月11日(金)までに振込み(振込用紙には、卒業期を明記の上、手数料をご負担ください)
○振込先 ゆうちょ銀行 00210-0-104782(郵便局から振込の方)
○二九店 当座 0104782(銀行から振込の方)
○加入者名 高女同窓会親睦旅行会(タカジドウソウカイシンボクリョコウカイ)
○お問い合わせ 橋本 真樹 TEL:090-7420-8979
宮下 美穂 TEL:080-9684-0921

82期 還暦同窓会

82期 田中路子

令和7年4月5日土曜日、私達82期は高崎駅東口エテルナ高崎に於いて「還暦」同窓会を開催致しました。ドレスコードは赤！何か赤い物を身に付けて集合！！と東口の駐車場からそれらしい人々が集まってきました。



変えての二次会、三次会に時の経つのを忘れました。更に82期LINEグループを作ろう！との呼びかけに120余名が登録し、今も連携が続いています。そんな若い「還暦」の私達は次回は3年後の逢瀬を約束したのでした。

83期 同窓会

83期 遠藤典子

令和7年11月9日、ホテルメトロポリタン高崎にて還暦の同窓会を103名の同期生と3名の恩師を招いて開催しました。私達は46歳の時に第1回、50歳の時に第2回を、そしてコロナ禍を経て待望の第3回目の同期同窓会となりました。



ソードから現在のご活躍の様子までお話を頂き、歓声が沸きました。最後に、音楽担任の松原先生が初めての指揮(在校時は生徒に任せていた為)をして下さって校歌を斉唱しました。次回は令和12年に開催予定です。

令和8年 京浜同窓会ご案内

- 令和8年6月28日(日) 12時~14時30分
KKRホテル東京(竹橋駅直結)
会費 12,000円
問い合わせ窓口URL https://forms.gle/delLbe7eWYMGVfk8s7



催し物

105期同窓生の落語家林家つる子様をお招きし、高座を予定しております

新年会

97期 江原ひとみ



令和8年2月8日、ホテルメトロポリタン高崎にて同窓会新年会が開催されました。齋藤校長をはじめ7名のご来賓と、200名を超える同窓生が

集う賑やかな会となりました。今年のアトラクションの一つ目はコンサート。原梢さん(99期)のファゴットと近藤陽子さん(90期)のピアノで、「早春賦」ジュ・トオ・ヴ「ロミオとジュリエット」ロマン「ス」など、2月のイベントであるバレエタイムにちなんだ愛のプログラムで構成され、ロマンティックな曲と素敵なお演奏に会場全体が柔らかな雰囲気になりました。

温かく楽しい時間を過ごすことが出来ました。期を超えて交流することができ、貴重な体験ができました。一緒に楽しい時間を過ごしていたいただいた皆様、ありがとうございました。



原梢さん(左)、近藤陽子さん(右)

令和7年度 母校の近況

●家庭科部 群馬県きのこ料理コンクール優秀賞

私は、2025年11月に開催された群馬県きのこ料理コンクールに参加しました。群馬県産きのこの魅力を多くの人に伝えたいという思いから、試作を重ね、「県産きのこのほくほくコロッケ」を考案しました。マッシュルームとまいたけを組み合わせて、食感や香り、味のバランスにこだわり、誰にでも親しみやすい味になるよう工夫して、トマトベースのソースを添えた彩りも良いコロッケに仕上げました。当日は緊張しましたが、審査員の方々に評価いただき、優秀賞を受賞することができました。



言葉をくださった先生方、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。予選を通過され、本大会に進んだ方々の作品は、ハンバーガーや肉まんなどユニークでとても美味しいものばかりでしたので、皆さんもぜひ本コンクールのページに載っているレシピを参考に、群馬県の栄養価の高いきのこを食卓に取り入れてみてください。(家庭科部3年 新野あかり)

●新聞部 第39回群馬県高校新聞コンクール県知事賞

私たち新聞部は、2025年に行われた第39回群馬県高校新聞コンクールで県知事賞をいただきました。例年よりも内容を増やし、特に力を入れた新聞を評価していただくことができ、非常に嬉しく思います。また、第2回全国高校新聞コンテストでも銅賞をいただくことができました。



新聞部は年に3回「高崎女子高新聞」を発行しており、新聞の企画や取材、記事の執筆などを行っています。新聞では、学校行事や地域の魅力などの幅広い話題を扱っています。納得がいくまで紙面の構成や記事を何度も修正し、内容をわかりやすく正確に伝えることを心がけています。

今年度は香川県で行われた全国高等学校総合文化祭にも参加し、全国の新聞部員との交流を通してより良い新聞を作る方法を学ぶことができました。

私たちの活動には、取材に応じてくださる方々や先生方、そして新聞を読んでくれる高女生の存在が不可欠です。新聞づくりを支えてくれる方々に感謝し、今後も多くの方々に楽しんでもらえる新聞の制作に励んでいきたいと思っております。(新聞部3年 三ツ木詩織)

●バレーボール部 県内四冠、春高バレー出場

わたしたちバレーボール部は、2025年11月に行われた選手権大会で44年ぶり3回目の優勝を果たし、2026年1月に東京体育館で開催された春の高校バレーに出場しました。前年度の新人戦から総体、インターハイ予選、そして選手権大会で優勝したことで、県内四冠を達成することができました。



選手権大会では、春高の出場権と県内四冠がかかっていたため、プレッシャーや緊張感もありましたが、どんな場面でも声を掛け合い、全員で優勝をつかみ取ることができました。

春高という舞台は、高校バレーに取り組みすすべての選手にとっての夢の舞台であり、多くの注目が集まる中、たくさんの方々のサポートと応援のおかげで、東京体育館の応援席

を高女のチームカラーである赤色に染めることができ、本当に嬉しく思います。同窓会の皆様には、多くのご支援、ご声援をいただき、本当にありがとうございました。今年度は二度の全国大会を経験し、個人としてもチームとしても多くの刺激を受けることができました。この経験を活かし、今後の大会でも優勝を目指して練習に取り組んでいきます。応援よろしくお祈りします。(バレーボール部3年 若狭奈夕)

●令和7年度卒業生 大学等合格数一覧

()は過年度卒の内数 令和8年3月31日現在

【国立大学】 123 (6)	東京科学大 2	埼玉県立大 1	東京理大 18 (2)
北海道大 3 (1)	東京農工大 1	東京都立大 2	東洋大 31 (1)
弘前大 1	横浜国立大 2	横浜国立大 6	法政大 19 (1)
東北大 6	新潟大 17 (1)	京都府立大 1	明治大 18 (1)
秋田大 2	富山大 2	大阪公立大 1	立教大 15
山形大 1	金沢大 10 (2)	その他 6	早稲田大 18
福島大 2	信州大 9 (1)	【私立大学等】 561(24)	防衛医科大学校 2
茨城大 1	名古屋大 2	青山学院大 15 (1)	その他 348 (14)
筑波大 7	鳥根大 1 (1)	学習院大 3	【医歯薬】 48 (5)
宇都宮大 1	その他 7	慶応大 6	国公立大学医学部医学科 8 (1)
埼玉大 6	【公立大学】 35 (0)	国際基督教大 1	私立大学医学部医学科 5 (3)
千葉大 4	福島県立医大 1	芝浦工大 15 (2)	国公立大学薬学部 3
お茶の水女子大 2	群馬県立科学大 2	順天堂大 13	私立大学薬学部薬学科 22
東京外大 4	群馬県立女子大 6	上智大 10	国公立大学歯学部 2 (1)
東京学芸大 2	高崎経大 9	中央大 16 (1)	私立大学歯学部 8
		津田塾大 13 (1)	

おたより

藍で結ぶチエコと日本



84期 小川里枝

制服のフレアスカートとを翻す名物から、真白に染まる浅間山、その左右に妙義山と榛名山、目を閉じるとその山並みと「物事に粘り強く取り組む」という自分の根っこを育んでくれた高女時代の懐かしい思い出がよみがえります。

大学卒業後、1991年開館の高崎市美術館に学芸員として勤務しはじめました。1990年代は冷戦終結という歴史的な出来事を背景に姉妹都市締結ラッシュがはじまり、高崎市もチエコのブルゼニ市と姉妹都市となりました。その記念事業として開催された「ボヘミアガラスの100年展」の準備をしたことか



絵本『藍染めのアポロニカ』(求龍堂)
ロマノコシトコヴァー原作・小川里枝訳

ら、私とチエコとのご縁がはじまりました。その後の4年間はプラハに在住し、カレル大学で学ぶと同時に、調査をかねて各地の美術・博物館や作家を訪ね歩いたことは、今となってはとても得難い体験です。

特にこの10年は、チエコの伝統工芸である藍染めの魅力発信に力を注いでいます。伝統工芸について学ぶ中で、江戸時代後期にあたる19世紀、チエコでも庶民は藍の型染めの衣服を身につけていたこと、現在では藍染め工房がたった2軒に激減していることを知った時の驚き。この驚きはいつまでも私の中で生き続け、2014年に「ヴィオラカ」というブランドを立ち上げることにつながりました。

20年以上の歴史を持つ伝統工芸品を使った現代の日本の暮らしに溶け込むプロダクトを提案し、古い手仕事のポテンシャルを感じてもらおうと活動しています。

活動は単なる紹介だけに留まりません。世界中どこにもある伝統工芸の後継者不足問題に対し、何か役に立てることはないかと、現地の工房を定期的に訪ね、職人さんへの取材を通して学び、交流を深めました。2018年、チエコを含む中欧5か国の藍染めがユネスコ無形文化遺産に登録された頃から、同じ問題意識を持った様々な立場の方たちとの交流がとて活発になり、藍染めの技と精神を子供たちに伝える絵本『藍染めのアポロニカ』の翻訳を手掛けることになりました。2025年は一般向けのチエコ文化体験プログラムを実施し、手仕事や国境を越えて繋ぐ縁の広がりを実感する毎日です。

今年5月27日から6月2日まで、高崎高島屋にて展示会を行います。みなさまにお

20年以上の歴史を持つ伝統工芸品を使った現代の日本の暮らしに溶け込むプロダクトを提案し、古い手仕事のポテンシャルを感じてもらおうと活動しています。

活動は単なる紹介だけに留まりません。世界中どこにもある伝統工芸の後継者不足問題に対し、何か役に立てることはないかと、現地の工房を定期的に訪ね、職人さんへの取材を通して学び、交流を深めました。2018年、チエコを含む中欧5か国の藍染めがユネスコ無形文化遺産に登録された頃から、同じ問題意識を持った様々な立場の方たちとの交流がとて活発になり、藍染めの技と精神を子供たちに伝える絵本『藍染めのアポロニカ』の翻訳を手掛けることになりました。2025年は一般向けのチエコ文化体験プログラムを実施し、手仕事や国境を越えて繋ぐ縁の広がりを実感する毎日です。

今年5月27日から6月2日まで、高崎高島屋にて展示会を行います。みなさまにお

昨年11月、令和6年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された峰哲彦先生の祝賀会が開催されました。先生は、昭和46年4月から59年3月まで高女にお勤務され、軟式テニス部で世話になった74期から83期が中心となって、お祝いさせていたいただいたものです。

先生は、長年にわたり英語教師として進学校を歴任され、軟式テニス部顧問として競技力向上と人間教育に心血を注がれました。またソフトテニス連盟の役員も務められ、特に昭和58年に本県で開催された「あかぎ国体」を大成功に導



82期 関口富美子

軟式テニス部OGで 峰哲彦先生 叙勲記念祝賀会

くなど、教育・スポーツ分野で多大なご功績を挙げられました。休日もほとんどなかったという情熱やご家族の支えに對し、改めて敬意と感謝の念を抱く機会となりました。

会では、先生から叙勲式や天皇陛下への拝謁という貴重なご体験を伺い、栄誉の重みに一同深い感銘を受けました。また各期より懐かしい思い出話が披露されました。末広町校舎時代の通称「ハムコート」から稲荷町新校舎へと時が移っても、真黒に日焼けしてボールを追いかけ、仲間と笑い時に涙したかけがえのない記憶は共通のものであります。校長官

舎での夏合宿。白いテニスウェア姿の先生が次々と練習出す白球。決して怒らず、私たちの自主性と人格を尊重してくださった先生。挫折や葛藤でさえ、今なお私たちの人生の大きな支えです。欠席された方々からも、多くの祝辞や感謝のメッセージが寄せられました。米寿を迎えられた現在も、県連盟の副会長として活躍の先生。先生とご縁が繋いでくれた同窓生の絆に、伝統の素晴らしさと喜びをのみしめました。

峰先生並びに同窓生皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、後輩たちの更なる飛躍に心からエールを送り、報告とさせていただきます。

顕彰

66期 中村芳美さん
令和7年度「瑞宝双光賞」
(学校保健功勞)

(国の顕彰のみ掲載させていただきます)

同窓会へのお問合わせ

同窓会員の皆様のお問合わせにつきましては、(株)サラトに委託しております。住所変更・ご逝去のご連絡、ご意見等は下記へご連絡お願いいたします。

TEL 0800-1000-118
FAX 0120-981-762
メール takajyo@salat.co.jp

同窓会からの お知らせ

母校の春高バレー出場を受けて、令和7年11月11日に開催された第2回期別幹事会で、「出場祝金」60万円を支出することが決まりました。12月8日に校長先生にお渡ししました。また、母校には同窓生有志を始めとして各方面から多くの賛助金が寄せられました。寄付金は、生徒の応援バス4台や応援Tシャツ等の購入費に充てられ、残余金は部活動の支援に活用されることとします。

82期 中村理恵	96期 片岡美穂	96期 岸聡子	96期 水谷明子	96期 森田百代	95期 飯野真子	87期 渡澤知子	82期 田中路子	74期 冬木嘉子	70期 三木宏子	65期 宮崎朋子	74期 横山美津子	61期 赤羽洋子
96期 藤原ひとみ	96期 江原ひとみ	96期 松井由紀	96期 安藤淳子	95期 坂山真里緒	92期 鯛中由紀恵	86期 光島祥子	75期 羽鳥康子	72期 林いずみ	67期 齋藤信子	81期 桂川孝子	66期 網島千栄子	

今回の40号の発刊にあたり、これまで関わってくださった方々に感謝申し上げます。

74期 横山美津子

あしがき

昨年、日本初の女性の内閣総理大臣が誕生しました。各分野での女性の躍進には目を見張るものがあります。同窓会においても文化、芸術、スポーツなど多方面でたくさんの方々が活躍されています。2月には82期の秋池玲子さんが経団連副会長に内定されるという嬉しいニュースもありました。会報では紙面に限りもあり、皆様の活躍をほんの一部しかお伝え出来ないことがとても残念です。

今回も同窓会の動向や行事のお知らせ等盛り沢山の紙面になっております。各紙面の担当者、ベテランの智恵や経験に若手のエネルギーも相まって、楽しく会議を進める事が出来ました。

会報委員一同、アンテナを高く張り情報をキャッチできるように努めておりますが、皆様からも様々な話題やご意見、ご感想をお寄せください。